

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ポジリブ			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～	2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～	2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連携やコミュニケーションがとれており、相談できる環境が整っている。	面談だけでなく連絡帳への記載や引き渡し時など、日頃から保護者と子どもの状況について共有を行い、連携を深めている。また、保護者や子どものニーズを把握し、可能な限り応じることで信頼を得られるように努めている。	保護者や子どものニーズを最優先にしていることもあり、優先順位の低い項目(保護者会の開催や地域の交流など)に取り組むことができていない。支援の幅を広げるため立地的な問題や必要性なども考慮したうえで、実現可能な方法を検討していく。
2	子どもの課題に合わせて活動内容を調整し、楽しく取り組めるように工夫しているため満足度につながっている。	5領域(「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」)を踏まえた幅広い活動を取り入れ、活動内容が固定化しないように工夫している。また、専門職(公認心理士/臨床心理士・作業療法士等)と連携し、専門的な視点で活動内容を考えている。	引き続き活動内容について様々な視点で案出し、新しい活動を模索していくとともに、SSTやビジョントレーニング、感覚統合等の研修を受講して療育の質を高めていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	紙面やLINEにて保護者に対する情報発信を行っているが、更なる情報発信が求められている。	毎年スタッフ紹介、毎月活動予定を紙面にて配付している。また、お出かけやイベントの際はLINEにて写真を送付し共有しているが、日々の活動の様子は連絡帳や口頭でのやりとりのみで写真にて共有できておらず、療育のイメージが掴みづらいことが考えられる。	保護者の同意を得たうえでInstagramなどのSNSを使って情報発信することで、活動内容や療育の様子をわかりやすいかたちで共有していく。
2	事故や災害等の非常時の対応マニュアルは整っており訓練も行っているが、保護者への情報が伝わりづらい状況となっている。	避難訓練や防災について学ぶ機会を設け、定期的に子どもと非常時を想定した訓練を行っている。保護者へは非常時の対応について契約時に説明し施設内に掲示しているが、周知されておらずわからないと感じている方も多いことが予想される。	施設内の掲示方法を工夫する。また、SNSを通して非常時の対応について周知を図ると同時に、虐待防止や感染症などに関する社内研修の様子も共有することで、安心して子どもを預けられる環境を提供していく。
3			